

# 自ら学び続ける教員等育成のための全体構想

～教員等としての資質能力の向上に向けての学びのサイクル～

第1段階

目標、課題の明確化

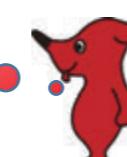
千葉県・千葉市教員等育成指標

\*平成29年度策定

●養成・採用・研修の全体像

※特に研修については、キャリアステージに応じた役割や、全てのキャリアステージに共通した「目指す姿」や「身に付けるべき資質能力」を示しています。

自分の仕事や立場に合わせた  
目標・課題を、指標に基づいて  
しっかり自分のものにしよう！



第2段階

目標、課題にあつた研修の選択・受講

千葉県教職員研修体系

\*平成30年度策定予定

※今後10年を見越した計画

●研修の目的

●4つの柱に対応するキャリアステージごとの目標

各ステージにおける「目指す姿」や「身に付けるべき資質能力」を確認し、必要な研修を見つけることができるようになります。

●研修の全体像

【研修体系の具体化】

単年度で見直す研修事業計画

・千葉県公立学校教職員研修事業総合計画



第3段階

研修履歴の確認、新たな問題意識

研修履歴の活用

\*研修履歴システム(仮称)平成32年度全面運用開始予定

●教員自身が資質向上のため、意欲をもって学び続けることができるよう、いつでも研修履歴を振り返り、必要な研修を受けられる環境づくりを進めます。

研修履歴を振り返り、  
新たな課題意識をもって、  
次のステップへ！



# 【千葉県・千葉市教員等育成指標】

～信頼される質の高い教員等の育成を目指して～

平成28年11月、教育公務員特例法の一部改正がなされ、任命権者は公立学校の教員等の資質の向上に関する指標を定めることが明記されました。同法の一部改正は平成29年4月に施行されたところです。

県教育委員会では、この改正の趣旨にのっとり、自ら学び続ける、信頼される質の高い教員等の育成を目指し、千葉市教育委員会と共同して、千葉県・千葉市教員等育成指標を策定しました。



千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」

## 指標策定の背景・経緯

社会的要因

社会環境の急激な変化・学校を取り巻く環境の変化・学習指導要領の改訂等

社会の要請

学校教育を担う教員の資質能力の向上の必要性の増大

国 の 施 策

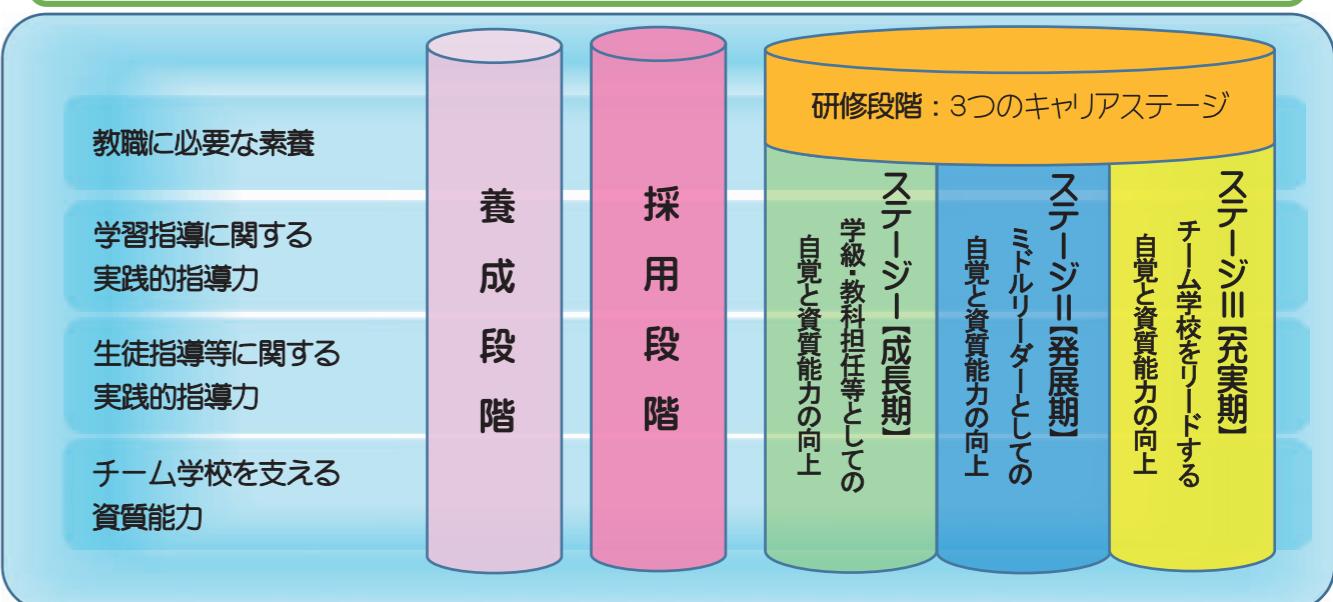
教育公務員特例法の一部改正 (平成29年4月1日施行)

- \*指標の策定…教員が高度専門職として身に付けるべき資質能力を示すこと
- \*教員養成を担う大学等との共通認識、養成・採用・研修を通じた新たな体制の構築
- \*指標策定にあたり大学等と連携した協議会を設置すること
- \*策定した指標に基づき教員研修計画を策定すること

千葉県の取組

- \*協議会…千葉市と合同で設置 教員養成課程をもつ大学、校種別の代表、関係課所長で組織
- \*千葉県・千葉市教員等育成指標策定 (平成29年度策定)
- \*指標に基づいた教員研修計画策定 (平成30年度策定予定)
- \*研修履歴システム(仮称)の導入(平成32年度全面運用予定)

## 千葉県・千葉市教員等育成指標を構成する4つの柱と「養成・採用・研修」各段階との関連図



## 千葉県・千葉市教員等育成指標

### 目標 信頼される質の高い教員の育成を目指して

「千葉県の教育の振興に関する大綱」「千葉市の教育に関する大綱」及び  
第2期千葉県教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県しば』プラン」より

四つの柱	構成要素	養成段階	千葉県・千葉市が求める教員像	ステージI 【成長期】 (学級経営、担当教科指導等) 学級・教科担任等としての自覚と資質能力の向上	ステージII 【発展期】 (学年経営、校務分掌主任等のミドルリーダー) ミドルリーダーとしての自覚と資質能力の向上	ステージIII 【充実期】 (学校運営等、職員全体へ指導・助言) チーム学校をリードする自覚と資質能力の向上
教職に必要な要素	○使命感 ○責任感 ○教育的愛情 ○高い倫理観 ○服務規律の遵守	○教職の意義 ○教員の役割 ○教職への意欲 ○課せられる義務等	教員としての職務に対する使命感、責任感、教育的愛情をもち、教職に対する強い情熱をもっている。また、教育公務員として高い倫理観をもち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行している。	○社会性 ○コミュニケーション能力	○教員としての広い視野や教養等を身に付けるとともに、学び続ける意欲やコミュニケーション能力を育む。	社会性、コミュニケーション能力等を備え、職務に応じて積極的に他の教職員と協働し、幼児児童生徒、保護者、地域等と関わっている。
学実践指導に専門性をもつて指導する力	○広い視野 ○学び続ける意欲 ○社会の変化への対応	○教育の理念・歴史・思想や社会的・制度的・経営的事項等についての基礎的知識(選択)	広い視野をもち、教員としての資質能力の向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れ、実践にあたっている。	○教職に関する教養	○人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員	教育に関し、社会的・制度的事項やその意義、歴史等について理解するとともに、最新の動向に身に付けるとともに、情報収集に努めている。
生徒実践的指導力	○教科等についての専門性 ○授業実践 ○指導技術	○学年指導要領、幼稚園教育要領に示された教科領域の目標・ねらい・内容 ○基礎的な学習指導理論 ○達成・学びの過程 ○指導技術 ○具体的な授業設計・保育を構想する方法	教科等に関する専門性を生かした授業を展開し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努めている。	○特別な支援を必要とする幼児児童生徒への学習上の支援	○高い倫理観をもち、心身ともに健康で、明快、快活な教員	地域や幼児児童生徒の実態を把握し、問題解決的な学習過程を展開するとともに、単元など内容や時間のまとまりの中で、習得・活用・探究のバランスを工夫し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努めている。
チーム学校を支える資質能力	○幼児児童生徒理解 ○信頼関係の構築 ○生徒指導	○幼児児童生徒の心身の発達の過程・特徴 ○生徒指導の意義・原理・進め方	特別な支援を必要とする幼児児童生徒についてその状況を把握し、家庭や他の教職員、関係機関等と連携しながら、個別に学習上の支援の工夫を行っている。	○教育相談 ○個別指導	○幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員	幼児児童生徒の心身の発達の特徴や現在の状況等を理解するとともに、幼児等との信頼関係を構築し、学級経営をはじめ、集団の掌握・適切な指導を行っている。
	○特別な支援を必要とする幼児児童生徒の理解 ○生活上の支援	○学校における教育相談の意義・理論 ○教育相談を進める際に必要な基礎的知識	幼児児童生徒一人一人の課題の解決に向け、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、園・学校生活への適応や人格の成長への援助を図っている。	○人権教育の推進 ○問題行動等への対応	○幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員	特別な支援を必要とする幼児児童生徒の個々の状況を理解するとともに、家庭や他の教職員、関係機関等と連携しながら、その状況に応じた生活上の支援を行っている。
	○進路指導 ○キャリア教育	○人権教育の理念 ○理念に基づく、いじめ等の問題行動等に対する適切な対応の在り方	人権教育の理念のもと、いじめ、不登校、情報モラル等生徒指導上の課題に対し、家庭、他の教職員、関係機関等との連携を図りながら、幼児児童生徒に対し適切な指導を行っている。	○組織の一員としての責任感と協調性をもち、互いに高め合う教員	○各学校で編成される教育課程を確実に実施するとともに、カリキュラム・マネジメントの視点から常に見直し、学校の実態に応じた教育課程に改善しようとしている。また、特別な支援を必要とする幼児児童生徒の教育課程の編成について適切な対応に努めている。	幼児児童生徒の自己実現の視点に立った授業展開、体験活動、ガイダンスとカウンセリングの充実に努めている。
	○教育課程の管理・運用 ○校務分掌 ○他の教職員との連携・調整	○各学校で編成される教育課程の意義・編成の方法 ○各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義	組織の一員として学校運営を支える力となり、自分の役割を責任をもって、積極的に果たしている。	○家庭や地域社会、関係機関との連携・協働の仕方	○取組事例を踏まえた家庭・地域との連携・協働の仕方 ○学校の担う役割が拡大する中、内外の関係機関との連携や、分担して対応することの意義・方法	家庭や地域社会、関係機関との連携・協働に努め、地域とともに歩む学校づくりに取り組んでいる。
	○研修(研究)体制	○研究と修養による資質能力の向上の意義・方法	研修(研究)における成果と課題を把握し、教員としての資質能力の向上を図るために必要な研究と修養に努めるとともに、校内研修体制づくりに取り組んでいる。			

### 教員等が身に付けるべき資質能力の4つの柱

#### 教職に必要な素養とは?

教職に就く者として必要な使命感・教育的愛情・倫理観をもち、服務規律を遵守するとともに、幼児児童生徒及び地域と積極的に関わる社会性やコミュニケーション能力が求められています。また、広い視野や学び続ける意欲をもち、社会の変化へ対応すること等も必要となります。

#### 学習指導に関する実践的指導力とは?

教科等についての専門性をもつとともに、幼児児童生徒の実態に合った授業実践力や指導技術を身に付け、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む能力が求められています。また、特別な支援を必要とする幼児児童生徒について、その状況を把握し、家庭や関係機関と連携して学習上の支援をすることが必要となります。

#### 生徒指導等に関する実践的指導力とは?

幼児児童生徒の心身の発達の特徴、特別な支援を必要とする幼児等も含めた個々の状況を把握、理解するとともに、信頼関係を構築し、学級経営、個別の指導、進路指導等を適切に行う力が求められています。また、生徒指導上の課題等に対しては、共感的に対応し、家庭・地域・関係機関等との連携を図ることが必要となります。

#### チーム学校を支える資質能力とは?

学校教育目標の実現に向け、教育課程を確実に実施するとともに、組織の一員として学校運営を支える力となり、他の教職員と連携・調整しながら、自分の役割を果たすとする姿勢が必要となります。また、校内研修体制づくりや地域とともに歩む学校づくりにそれぞれの立場から積極的に取り組む力が求められます。

### 自ら学び続ける教員等として、キャリアステージ3段階で目指すもの

#### ステージI【成長期】 (学級経営、担当教科指導等)

【学級・教科担任等としての自覚と資質能力の向上】

○組織の中で、学級・教科担任等としての自分の職務を理解し実践できるようにするとともに、担当分掌についても組織の一員として職務を遂行できる力量をもつことが期待されます。

#### ステージII【発展期】 (学年経営、校務分掌主任等のミドルリーダー)

【ミドルリーダーとしての自覚と資質能力の向上】

○学級・教科担任等としての職務について常に資質能力の向上に努めることが必要です。  
○学校教育目標の実現を目指して、学年主任や校務分掌主任等ミドルリーダーとしての自覚をもち、連絡・調整、他の教員等への指導・助言等、その役割を果たすこと期待されます。

#### ステージIII【充実期】 (学校運営等、職員全体へ指導・助言)

【チーム学校をリードする自覚と資質能力の向上】

○学級・教科担任等としての職務について経験を生かしながら、新たな教育課題に率先して取り組むなどして、常に資質能力の向上に努めることが必要です。  
○学校全体が協働して校務を遂行する上で、チーム学校をリードする自覚をもち、企画立案、他の教員等への指導・助言等、その役割を果たすことが期待されます。